プレスリリース
（報道関係各位）

伊那市

令和8年 10 月2日
商工観光部 観光課 観光政策係

「ロケ誘致・撮影支援セミナーin 伊那」
「ロケ地を、みんなでつくる。」セミナー開催

伊那市（伊那谷フィルムコミッション）と独立行政法人国立美術館 国立映画アーカイブは、**「ロケ地を、みんなでつくる。」**をテーマに、映画監督やフィルムコミッションの視点から、ロケ撮影を支える地域の力や、身近な風景がロケ地になる可能性をひもとく**「ロケ誘致・撮影支援セミナーin 伊那」**を開催いたします。

有名な観光地や絶景だけがロケ地になるわけではなく、日常の何気ない街並みや身近な場所も、作品の大切な舞台になります。 本セミナーでは、**映画『かくしごと』（2024 年公開・主演：杏）の関根光才監督**をお迎えし、県内各地のフィルムコミッション担当者とともに、地域の風景を撮影につなげる役割や、地域との関わり、ロケ地に選ばれる地域について考えます。

どなたでも参加可能となっており、県内外の多くの皆様にご参加いただきたく存じますので、是非、告知ならびに取材賜りますようよろしくお願いいたします。

■イベント概要

１．開催日時　令和８年１０月１７日（土曜日）　13 時 30 分から 15 時 30 分

２．会　場　伊那市創造館 3 階講堂（〒396-0025 伊那市荒井 3520 番地）

３．参加費　無料（先着順 100 名、事前予約が必要、席に余裕があれば当日参加も可能）

４．プログラム

12:30　開場・受付開始
13:30　第１部「映画を地域で撮るということ～フィルムコミッションがつなぐ、作品と地域～」
信州フィルムコミッションネットワーク事務局担当者
13:50　第２部「映画『かくしごと』ができるまで～伊那市で映画はどう生まれたのか～」
トークゲスト：関根光才監督
伊那谷フィルムコミッション担当者
14:30　第３部「ロケ地を、みんなでつくる。～地域の魅力をどう映画につなげるか～」
トークゲスト：関根光才監督
安曇野市観光課担当者
伊那谷フィルムコミッション担当者

５．申し込み方法　Web 申込　（https://forms.gle/puszbKvTAELCB3SZ7）

■資料　有り

本件に関するお問い合わせ先

伊那市 INA-CITY
長野県伊那市　商工観光部　観光課　観光政策係
（課長）田中稔　（担当）池上、安部（地域おこし協力隊）
（内線）2435　E-mail：knk@inacity.jp
電　話：0265－78－4111（代表）　FAX：0265－78－4131

映画監督と考える「選ばれる地域」とは

ロケ誘致・撮影支援セミナー in 伊那

ロケ地を、みんなでつくる。

2026.10.17［土］13:30-15:30

お申し込みはこちら

https://forms.gle/puszbKvTAELCB3SZ7

先着人数に達し次第、
募集を締め切らせていただきます。

空席があれば
当日参加も
可能です！

場　所　伊那市創造館 3 階 講堂
〒396-0025 長野県伊那市荒井3520番地

※一般駐車場はございません。公共交通機関または「いなっせ」など近隣の市営駐車場をご利用ください。駐車券は創造館1階事務室で無料化します。

参加費　無料

定　員　100名（先着）

伊那市創造館の2階企画展示室では
第36回企画展
伊那谷フィルムコミッションのしごと を展示中！
ぜひ2階にも足をお運びください♪

映画監督やフィルムコミッションの視点から、ロケ撮影を支える地域の力や、身近な風景がロケ地になる可能性をひもときます。伊那市でも撮影された映画『かくしごと』の関根光才監督を迎え、地域と映像作品との関わりや、「ロケ地に選ばれる地域」について考えます。

〔主催〕独立行政法人国立美術館 国立映画アーカイブ　伊那市（伊那谷フィルムコミッション）
〔共催〕信州フィルムコミッションネットワーク
〔運営〕特定非営利活動法人映像産業振興機構（VIPO） 特定非営利活動法人ジャパン・フィルムコミッション
国立映画アーカイブ／全国ロケーションデータベースの利用促進等のための調査研究事業

PROGRAM

ロケ地を、みんなでつくる。

1部 ｜映画を地域で撮るということ

－フィルムコミッションがつなぐ、作品と地域－

13:30 ～ 13:50

有名な観光地や絶景だけが、ロケ地になるわけではありません。
日常の何気ない街並みや身近な場所も、作品の大切な舞台になり得ます。
県内各地のフィルムコミッションが連携し、ロケ誘致や撮影支援に取り組む「信州フィルムコミッションネットワーク」の担当者が、地域の風景を撮影につなげる役割や、地域との関わりを紹介します。

《登壇者》

✦信州フィルムコミッションネットワーク担当者

2部 ｜映画『かくしごと』ができるまで

－伊那市で映画はどう生まれたのか－

13:50 ～ 14:20

関根光才監督とともに、一本の脚本からロケ地が決まるまでをたどります。伊那が撮影地に選ばれた理由やロケハンの舞台裏、地域の人々との撮影エピソードなど、映画『かくしごと』が伊那で生まれるまでのお話を伺います。

《登壇者》

✦関根 光才 監督

✦伊那谷フィルムコミッション

3部 ｜ロケ地を、みんなでつくる。

－地域の魅力をどう映画につなげるか－

14:30 ～ 15:30

① 公開ロケ地プレゼン「監督、ここで撮ってください！」
② クロストーク「選ばれるロケ地」とは

フィルムコミッション担当者が、ロケ地候補を関根監督に公開プレゼン！監督とともに、地域の風景を映画につなげる方法や、ロケ地として選ばれるために地域でできることを考えます。

《登壇者》

✦関根 光才 監督

✦伊那谷フィルムコミッション

✦他地域フィルムコミッション担当者

関根 光才 監督

映像作家・映画監督。
2005年、初監督の短編映画『RIGHT PLACE』を発表。ニューヨーク短編映画祭の最優秀外国映画賞などを受賞。翌年、仏・カンヌライオンズ(カンヌ国際広告祭)のヤング・ディレクターズ・アワードにて、グランプリを含む3部門で最高賞を受賞。
2018年、初めて監督・脚本を手掛けた長編劇場映画『生きてるだけで、愛。』を発表。同作で新藤兼人賞・銀賞を受賞したほか、仏・キノタヨ映画祭で審査員賞を受賞。同年、長編ドキュメンタリー映画『太陽の塔』も公開。
国連UNHCR協会と難民問題をテーマにした作品を発表するほか、2024年公開のドキュメンタリー映画『燃えるドレスを紡いで』では、ファッションのゴミと環境問題に焦点を当てるなど、社会的なテーマを扱った作品も数多く手掛けている。
2025年、日本で初めて新型コロナウイルスの集団感染が発生した豪華客船での実話を基にした映画『フロントライン』を発表。

— 主な監督作品 —
映画『フロントライン』(2025年公開)
映画『かくしごと』(2024年公開)
映画『燃えるドレスを紡いで』(2024年公開)
映画『生きてるだけで、愛。』(2018年公開)
映画『太陽の塔』(2018年公開)

お問い合わせ
伊那市役所 商工観光部 観光課 伊那谷フィルムコミッション
〒396-8617　長野県伊那市下新田3050 伊那市役所内
TEL：0265-78-4111
inadanifc@inacity.jp